

令和 8 年度 道徳教育 全体計画

学校 番号	36	小諸義塾	高等学校	定 課程	商業 科
----------	----	------	------	------	------

学校教育目標
教育活動をとおして個人の尊厳と協調の精神を身につけ、民主的な国家社会の形成者たる資質を培うとともに、自身の所属する学科での学びを中心に、学校内外での多様な学びをあわせもつことにより、「未来を創る力」と「新たな価値を創造する力」をもつ有為な人材を育てる。
重点目標
1 自ら問いを立て、その解決に向けて主体的、協働的に取り組む力を育てる。 2 地域社会との連携や協働による活動をおし、探究的な学びを推進する。 3 学習活動や様々な行事等へのICTの積極的活用、および知見の共有を推進する。 4 生徒一人ひとりの基本的生活習慣の確立と生徒の自立をサポートする体制を整える。 5 人権を尊重し、いじめや体罰等のない、安心安全な学校をつくる。

道徳教育の重点目標
1 心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに他者の人権を尊重する精神を育てる。 2 自主性・協調性・社会性を養い、公共にとってより良い環境を築こうとする資質の向上に努める。 3 身近な物事に対する責任感と、周囲への気遣いを意識できるような精神を養い、1,2重点目標の支柱となる基礎意識の育成に努める。

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
1 年	基本的な生活の確立と、集団における規範意識をさらに成長させ、周囲の人間に対する理解を進め、よりよい人間関係の形成を目指す。	各専門教科の共同のもと、「信州学」の有用性を理解し、自身が生活する地域（小諸市）への理解を促進する。同時に地域の有する政策的・商業的課題の発見や、それを解決せんとする思考の定着を目的とする。	学級生活における集団行動や体験活動を通して、物事の多角的な見方を知っていく。また、その中で多様性社会への適応や「個」としての存在意義を模索する積極性それ自体の発達を促す。	自身の所属する集団の運営において自らの責務や能力を意識しそれ相応の成果を目指すことのできる生活を送れるようにする。その過程で豊かな人間関係を育む。	国語	文学作品を読むなかで登場人物の心理と行動を考えさせ、さらに現実生活のなかで他者を思いやり、尊重できる心を育む。
					地理歴史	人権の歴史と発展を理解し、社会の在り方や人間としての生き方について選択や判断する力を育む。
2 年	集団生活における規範意識の定着を進め、学習活動に対する本人の意欲・関心と学力の伸長、また充実した継続的の学校生活を送れるようにサポートをし、その中で自身の将来への展望につながる機会を設けられるように指導を行う。	健全で規律ある生活を確立し、自己の在り方・生き方を探り、自身の興味関心について再考する。資格取得やアルバイトでの経験を通して、自らの勤労についてリアルな計画性を持つようにする。	相手の立場で考える能力を身につける。同時に自身の行動や思考について冷静に振り返り、自己理解できる習慣を醸成する。	共通の興味関心を追求する活動を通して集団の活動がより良いものになるように努力する態度を育む。	公民	事象を数学的・論理的に考察し、表現する能力を高めながら、道徳的判断の育成に資する。
					数学	事象を数学的・論理的に考察し、表現する能力を高めながら、道徳的判断の育成に資する。
3 年	自主性や協調性、責任感を養い、勤労等の喜びを体得させ、進路選択の能力を高め、社会の一員として必要な判断力や規範意識を身に付ける。	体験等を通して、課題解決能力を身につけ、進路を踏まえた勤労について考える。より高い水準の資格取得を推進する。	周囲の意見を大切にし、さまざまな諸問題の解決を図ること、協調性や自主的な態度、自らを向上させようとする意識を育成する。	4年生と協力しながら、生徒会活動やクラスマッチの計画・実施を通じて集団を動かす力を涵養し実践力をつける。	理科	さまざまな事象を科学的な思考力を働かせて分析し、論理的な判断ができるような力を育む。
					保健体育	ルールやマナーを尊重し、責任を果たそうとする態度を養う。健康の大切さを知り、自らの健康を適切に管理・改善する態度を養う
4 年	自立して生きようとする力や自己教育力を育み、社会に貢献する意識や奉仕の精神に富んだ能力を高める。また、本過程の最高学年として、下級生を先導する態度を養う。	将来の目標・志を立て、就きたい職業を考え、進路実現を目指す。目標、計画及び課題の明確化、資格取得（普通自動車免許を含む）など。	責任をもって行動し、調和のとれた集団づくりを目指し責任をもって行動する中で、自分の目標に向かって誠実に努力する。	リーダーとしての自覚のもと生徒会活動やクラスマッチの計画・実施を通じて集団を動かす力を涵養し行事の計画・立案と実践力をつける。	芸術	歌唱、器楽、鑑賞指導を通して感受性を高め、心豊かに生活が送れるような力を育てる。
					外国語	諸外国の文化に対する理解を深め、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
					家庭	生活に関する事象をあらゆる角度からみつけ、家庭や地域社会の一員としての自覚をもって自分の生き方を考える態度を育む。
					情報	商業「情報処理」で代替
	商業	ビジネス活動を主体的・合理的、かつ倫理観をもって行い、経済や地域社会の発展を図る能力と態度を育む。				
	総合的な探究の時間	商業「課題研究」で代替				

家庭・地域との連携	家庭と協力して基本的生活習慣の確立や規範意識の醸成に努める。 地域の教育力を活用し、望ましい集団生活やより良い人間関係の構築、社会性の育成に努める。
-----------	---